

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人田原学園 浜町幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・それぞれの子ども達が十分に自己を発揮し自己充実する
- ・様々な体験を通して、自分で行動する意欲や態度を育てる
- ・友だちを思いやる心を育てる

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・コロナ後の新たな時代にマッチする保育、行事のあり方を考察、検討し構築していく。
- ・支援を要する園児だけに限らず、ひとり一人の個性、特性を見きわめ、適切な働きかけを実践し、振り返り、効果をはかる。
- ・保護者との連携及び父母の会活動のあり方を再考し、改革してゆく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	取り組み状況・結果
教育課程の見直し 教育行事の再考	B	コロナ前の形式には完全には戻せない部分もあるが、園行事や参観行事では保護者に直接観覧、参観できる行事を復活させ、子ども達の成長の様子を感じて頂けた事と思う。あわせて保育活動の様子の動画配信も継続していった。
特別支援教育	A	昨年度同様に支援を担当する教諭への専門図書の提供をはじめ、日々の報告や話し合いを多く持ち、特別支援教育に関する研鑽を深めていった。専門機関との連携も強化しつつ、支援の仕方や意味も理解し、保護者とも、より踏み込んで話し合いながら連携することが出来た。
保護者との連携	A	園だよりやアンケート類は紙ベースのものから Web での配信、やり取りの比率をあげていった。父母の会活動も全員参加型からボランティア形式で参加協力を募り、教育活動や園行事を展開していくようにシフトしていった。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	前年度の課題の一つであるバス運行管理及び生活安全の管理体制の見直しは円滑に進んで、ほぼ確立してきた。ポストコロナに向けた教育課程の見直しや行事運営も少しずつステップを踏んで進行中である。教職員の労務管理については近年の教育時間外の業務過多の傾向（預かり保育業務やバス乗車当番、教材研究、行事準備など）には改善が必要である。

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
教育課程の見直し	以前からの内容（文言）をもう一度精査し、現状に見合った内容に修正する。 子どもの視点を意識し、興味関心を捉えた発展性のある活動のカリキュラムを編成していく。
危機管理マニュアルの改訂	形式だけの防災計画、危機管理マニュアルを見直し、特に東日本大震災や令和6年能登半島地震の教訓を元に地震や津波、水害等の災害安全への対応について再検討する。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

今年度はコロナ前のような教育活動への参加や参観が出来た行事がいくつか戻ってきたそうで、先日のせいかつ発表会は久しぶりに生の演技を身近で観ることが出来、大変嬉しかったとのお声を聞きました。年度末の締めくくりの行事で1年間の一人ひとりの確かな成長を感じたことでしょう。

それから、今年は例年になく早くから流行が始まったインフルエンザもA型からB型へ移行し、まだまだ今現在も収まっておりません。そのような中でも、貴園では大流行することなく、この冬も乗り越え、鼓笛隊の演奏会やせいかつ発表会も無事開催出来、1年間を終える事が出来るのは浜町の保護者の皆さんの予防意識の高さと先生方の感染予防対策へのご尽力のお陰といえるでしょう。消毒の用務員さんも配置されているようで、先生方には本当にいつもご苦勞様ですと言いたいです。

もう一つ近年特に感じることで、貴園の手厚い教職員体制には保護者さんは安心して園へ通わせることが出来るでしょう。小さい組には一クラスに3人の先生が入っていることもあるそうで、ベテランの先生方と若い先生方、補助の先生方と連携の良さを感じます。これからも支援の必要なお子さんをはじめ、一人ひとりの個性や特性を認めそれを伸ばしていく教育を推進していかれる貴園を応援しております。

学校関係者評価委員  ㊞

学校関係者評価委員  ㊞

学校関係者評価委員  ㊞

委員会実施日 令和 6年 3月 16日